

これから10年、住み良い故郷に

やるきつながらりプラン中間報告会



▲3つの地区が代表で計画の中間報告を行いました

第5次総やるきつながらり

プラン中間報告会

は、9月21日に公民館

で行われ、行政区の代表ら

120人が集まって計画の

策定状況を報告しました。

やるきつながらりプランは

第5次総合振興計画の地区

別計画のこと

で、今後10年間で自分た

ちの地区をもっと住み良

く、魅力的にしようとする

在各地区で計画策定が進

められています。今回の

報告会は20行政区の策定

状況を報告し合うことで、

今後の計画策定の参考に

していただこうと行われま

した。

この日は代表して深谷・

佐須・飯樋町行政区から、

それぞれ自分たちの地区

の課題や魅力、今後の重

点目標などが発表されま

した。

各地区の計画の中には

地区にある地域資源や自然環境などを有効利用するものや、古き良き田舎生活を見直そうとする項目が置かれ、村が掲げる「までいライフ」実践のためのアイデアが盛り込まれていました。

発表後は日本大学教授で村づくりアドバイザーの糸長浩司先生から、20行政区の計画についてそれぞれにアドバイスがされるものではなく、住民み

このほど八巻良清さん(草野)宅に、かぼちやを磨く機械が導入されました。

この機械は村の単独補助により購入したもので、かぼちやを中に入れて、ベルトコンベアで流れながらブラシで順次磨かれる仕組みになっています。

機械から出てきたかぼちやは入れる前より一層つやが出ており、「この機械は人間10人分の働

んなでやるもの。そのためには現場で汗水流して働いて仲間を増やしていくことが大切」と村づくりへの考えなども話されました。

やるきつながらりプランは平成16年2月末までに全ての行政区で計画が策定される予定です。

生産農家に強い味方

村単補助でかぼちや磨き機を導入



▲導入された機械と八巻さん

このほど八巻良清さん(草野)宅に、かぼちやを磨く機械が導入されました。

この機械は村の単独補助により購入したもので、かぼちやを中に入れて、ベルトコンベアで流れながらブラシで順次磨かれる仕組みになっています。

機械から出てきたかぼちやは入れる前より一層つやが出ており、「この機械は人間10人分の働

んなでやるもの。そのためには現場で汗水流して働いて仲間を増やしていくことが大切」と村づくりへの考えなども話されました。

やるきつながらりプランは平成16年2月末までに全ての行政区で計画が策定される予定です。

今年、八巻さんはかぼちや「黄色いハート」を8反ほど作付けしており、8月に入ってから、3千600キログラムほど出荷したとのこと。かぼちやの生産については「来年はまた作付けの規模を大きくして頑張りたい」と話していました。

今年、八巻さんはかぼちや「黄色いハート」を8反ほど作付けしており、8月に入ってから、3千600キログラムほど出荷したとのこと。かぼちやの生産については「来年はまた作付けの規模を大きくして頑張りたい」と話していました。

今年、八巻さんはかぼちや「黄色いハート」を8反ほど作付けしており、8月に入ってから、3千600キログラムほど出荷したとのこと。かぼちやの生産については「来年はまた作付けの規模を大きくして頑張りたい」と話していました。

今年、八巻さんはかぼちや「黄色いハート」を8反ほど作付けしており、8月に入ってから、3千600キログラムほど出荷したとのこと。かぼちやの生産については「来年はまた作付けの規模を大きくして頑張りたい」と話していました。

今年、八巻さんはかぼちや「黄色いハート」を8反ほど作付けしており、8月に入ってから、3千600キログラムほど出荷したとのこと。かぼちやの生産については「来年はまた作付けの規模を大きくして頑張りたい」と話していました。

今年、八巻さんはかぼちや「黄色いハート」を8反ほど作付けしており、8月に入ってから、3千600キログラムほど出荷したとのこと。かぼちやの生産については「来年はまた作付けの規模を大きくして頑張りたい」と話していました。

今年、八巻さんはかぼちや「黄色いハート」を8反ほど作付けしており、8月に入ってから、3千600キログラムほど出荷したとのこと。かぼちやの生産については「来年はまた作付けの規模を大きくして頑張りたい」と話していました。